

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
貧困に対する支援	HSP22-005	選択	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
手塚 恵	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問など受付		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉本科目では、社会福祉士として貧困状態にある人々や公的扶助を受けている人の支援をするうえで、貧困の実態や社会環境と貧困支援に関する歴史や関連する法律を理解することを目的とする。</p> <p>〈概要〉教科書を中心に講義を行い、学生がグループワーク等を通じて考え、貧困に対する支援について言語化によって具体的に理解を深めることができるよう、授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	知識の定着を図るために、教科書や配布資料等から気になるワードを自分なりに文献で調べることで探求する姿勢を身につけることが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 4 貧困に対する支援/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	なし。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	貧困の概念を説明することができる。			HC(1)、(2)、(5)	
②	貧困状態にある人の生活実態と取り巻く社会環境を理解し、説明することができる。			HC(1)、(2)、(3)、(5)	
③	貧困の歴史について理解し、説明することができる。			HC(3)、(5)	
④	貧困に対する法制度について理解し、説明することができる。			HC(2)、(3)	
⑤	貧困に対する支援における機関と専門職について理解し、説明することができる。			HC(2)、(4)、(5)	
⑥	貧困に対する支援の実際について理解し、説明することができる。			HC(1)、(2)、(3)、(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の目的、進め方の説明。評価方法。他) について理解する。貧困の全体像を理解する。	講義	内容の復習を行う。	2	
2	公的扶助の概念について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書 (p1-16)を精読する。	4	
3	貧困の概念と生活実態について学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書 (p17-26)を精読する。	4	
4	貧困の概念と生活実態について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書 (p27-40)を精読する。	4	
5	貧困の歴史について学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書 (p41-64)を精読する。	4	
6	生活保護制度について学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書 (p65-94)を精読する。	4	
7	生活保護制度について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書 (p94-122)を精読する。	4	
8	低所得者に対する法制度について学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書 (p123-144)を精読する。	4	
9	低所得者に対する法制度について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書 (p145-152)を精読する。	4	
10	低所得者に対する法制度について学ぶ。③	講義 グループワーク	教科書 (p153-165)を精読する。	4	
11	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割について学ぶ。①	講義 グループワーク	教科書 (p167-180)を精読する。	4	
12	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割について学ぶ。②	講義 グループワーク	教科書 (p181-189)を精読する。	4	
13	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割について学ぶ。③	講義 グループワーク	教科書 (p190-195) を精読する。	4	
14	貧困に対する支援の実際について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書 (p197-217) を精読する。	4	
15	まとめ	講義	配布資料を復習する。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		80	0	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	5	25
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。 試験は講義で用いた教科書、配付資料から出題する。予習と復習を行い、理解度を深め知識の定着を図ること。 ・試験形式(筆記試験) ・問題形式(選択式・記述式・穴埋め式など)	Teams 上に試験解答例を掲示する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義中に理解を深めるため、受講生間で小グループによるグループワークを実施する。リアクションペーパーを毎回提出してもらい、授業の理解度や学ぶ姿勢などを評価する。	質問があった場合、授業内にて共有をする。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	社会福祉士として高齢者分野と医療法人で 20 年の実践経験。						
実践的授業の内容	教員が実践現場で出会った事例等を用い、実際の状況を理解できるよう工夫する。(事例は個人を特定できないように配慮する)						
そ の 他	【受講する際の注意事項】 ・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は原則禁止する						